

こんにちは YAMASHIROKITA HOKENSYO

山城北保健所です

No. 21
2014年9月

第21号 編集・発行 京都府山城北保健所 〒611-0021 宇治市宇治若森7-6 ☎0774・21・2191代 FAX0774・24・6215

危険ドラッグは、 大変恐ろしいものです!!



~たった1回の使用でも、その後の長い人生が台無しに~

危険ドラッグは、大麻や覚せい剤などの規制薬物より危険な物質が含まれていることが多く、突然、自分の理性がコントロールできなくなることから、他人を巻き込む交通事故や殺傷事件が発生しています。また、たった1回の使用であっても、死に至ることがあります。

「合法ドラッグ」や「脱法ドラッグ」などと称していても、決して関わらないでください!



ハーブ



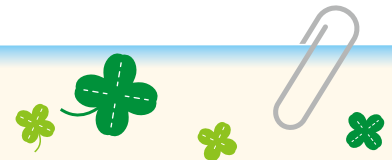
リキッド



パウダー

(出典：厚生労働省)

所長コラム 長寿と平均寿命



9月の敬老週間には、毎年、市町や各施設の敬老行事に出席します。老人を敬愛し、長寿を祝うとして、米寿(88歳)、喜寿(77歳)や100歳以上のご老人方を祝賀します。しかし、ここで最近ふと思うことは、昨年の平均寿命、女性が86.6歳(世界1位)、男性がついに80歳を越え80.2歳(世界4位)でありました。米寿の女性は、やっと平均寿命を超えたところであり、喜寿に至っては、男女とも平均寿命までまだ10年以上を残しています。これらが果たして長寿と言えるのでしょうか。私たち団塊の世代が生まれた昭和22年の平均寿命は、実に男性が50歳、女性が54歳でした。正に人生50年、この頃の状況が現在まで引きずられているのです。つけ加えて言うならば、現在国民の25%を占める高齢化率、この高齢者を65歳以上と定義づけるのも、今となっては見直す余地があるのではないのでしょうか。



和田 行雄

